

## 支援学校高等部 芸術（美術）

### 解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2**～大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。  
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3
- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。
- 4
- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び  の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。
- 5
- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。
- 6 コミュニケーション
- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の  と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。  
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及びの作成の推進、の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ

(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を  に捉える観点別学習状況の評価と、これらを  に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や  に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に  した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との  を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す  の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて  を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 アーイーウ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーウーエ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

2 (1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 絵画等の表現技法について、次の①～③の問いに答えよ。

① 次のそれぞれの [ ] に示された「絵画等の表現技法」A～Eと、その「制作方法」あ～おの正しい組み合わせとして、最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は [ 11 ]

「絵画等の表現技法」

A バチック	B スパッターリング	C デカルコマニー
D ドリッピング	E にじみ・たらし込み	

「制作方法」

あ	水をたっぷり含んだ絵の具を使い、一色で用紙に面をつくり、それが乾かないうちにほかの色を隣接させたり、中に落としたりしてつくる。
い	はじめにろうやニス・クレヨンなどで図柄をかき、その上から水でといた水彩絵の具で彩色する。
う	金網に絵の具をつけたブラシをこすりつけると、絵の具がはじかれ霧状となって紙面につく。型紙を置いたりして表現の工夫をする。
え	用紙を二つ折りにして絵の具をはさんだり、ガラスや吸水性の低い紙などに絵の具をたらし、上から用紙を押し当てたりしてつくる。
お	紙の上に絵の具をたっぷり落とし、紙面を傾けたり、直接口で吹いたりストローを使って吹いたりして図柄をつくる。

1	A-え	B-う	C-あ	D-お	E-い
2	A-い	B-う	C-え	D-お	E-あ
3	A-う	B-お	C-え	D-い	E-あ
4	A-い	B-お	C-あ	D-う	E-え

② 作品A「形状N0.16」は、コラージュやフロタージュ等の表現技法を用いた作品である。この作者は誰か。1～4から一つ選べ。解答番号は [ 12 ]

1	サルヴァドール・ダリ	2	ジョルジョ・デ・キリコ
3	マックス・エルンスト	4	ルネ・マグリット

③ 作品B「マルセイユ港の入り口」は、点描の表現技法を用いた作品である。この作者は誰か。1～4から一つ選べ。解答番号は [ 13 ]

1	ポール・シニャック	2	アンドレ・ドラク
3	ジョルジュ・ブラック	4	ジョルジュ・スーラ

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「形状NO.16」  
マックス・エルンスト  
マヌエル・デ・ムガ・コレクション蔵

作品A

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「マルセイユ港の入り口」  
ポール・シニャック  
オルセー美術館蔵

作品B

(2) 水墨画等について、次の①～③の問いに答えよ。

- ① 平安・鎌倉時代に描かれた鳥、人物、人の滑稽で楽しい物語の作品で、漫画の原型がみられるものとして有名である。作品名として、最も適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 北斎漫画                      2 鳥獣人物戯画  
3 石山寺縁起絵巻              4 百鬼夜行絵巻

- ② 作品C「破墨山水図」(一部拡大)の作者は誰か。

1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 宮本武蔵                      2 横山大観  
3 曾我蕭白                      4 雪舟

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「破墨山水図」  
雪舟  
東京国立博物館蔵

作品C

- ③ 水墨画の技法「先隈」の表現として、最も適切なものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は



1



2



3



4

(3) 著作権法（昭和四十五年法律第四十八号）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 第五十一条（平成28年法律第108号「TPP整備法」により改正）では、「著作権は、この節に別段の定めがある場合を除き、著作者の死後（共同著作物にあつては、最終に死亡した著作者の死後。次条第一項において同じ。）【   】年を経過するまでの間、存続する。」とある。【   】に入る最も適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 三十      2 五十  
3 七十      4 百

② 次の事柄について適切でないものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 ウェブ上に違法にアップロードされた音楽や映像を違法と知りながらダウンロードする行為については、私的使用目的の複製の範囲外とされている。
- 2 教育を担当する者及び授業を受ける者は、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、公表された著作物を複製することができる。
- 3 放送番組をビデオ撮りして授業に使用するのには、自由利用の要件を満たしていればさしつかえない。
- 4 授業の過程における使用とみなされない学級通信や学校便り、学校ホームページにおいても、公表された著作物を複製することが認められている。

**3** 次の作品A～Cは富士山に関連したものである。(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 作品Aについて、①、②の問いに答えよ。

① 作者名を答えよ。

② この作品は、平成25年6月に世界文化遺産に登録された場所が題材となっている。その場所を次のア～ウより一つ選び、記号で答えよ。

- ア 江の島  
イ 三保松原  
ウ 七里ヶ浜

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

富士三十六景「駿河三保之松原」  
歌川広重  
町田市立国際版画美術館

作品A

(2) 作品Bについて対話型の鑑賞授業を実施し、その後、改めて作品Bの表現の特徴を生徒に説明する。どのように生徒に説明するか、作者がどのような情景を捉えて表現したかを、観点①、②に触れて簡潔に答えよ。

観点① 「季節」

観点② 「時間帯」

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

富嶽三十六景「凱風快晴」  
葛飾北斎  
島根県立美術館

作品B

(3) 19世紀後半の西欧において、日本美術の影響を受けた「ジャポニスム」が流行した。作品Cにもその影響が見られるが、作者は日本美術のどのようなところに影響を受けたか、簡潔に答えよ。

著作権保護の観点により、  
本作品を掲載いたしません。

「タンギー爺さん」  
ファン・ゴッホ  
ロダン美術館

作品C

- 4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術 I 2内容」について「A 表現（1）ア（7）（イ）」の事項を身に付けることができるよう「B鑑賞（1）イ（イ）」との関連を図った8時間の指導計画を作成する。（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「題材設定の理由」を次のように設定した。「題材名」及び、「題材の目標」を記せ。

題材設定の理由	<p>「高等学校学習指導要領 A表現（1）絵画・彫刻 ア（7）（イ）」では、感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想に関する指導内容が示されている。</p> <p>生徒は、美術の鑑賞や作品制作に意欲的に取組もうとしているが、自然や自己の内面、生活など見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する際に、正解を求めすぎ、周りの生徒の反応が気になるあまり、自分の感じたことや思いなどから主題を生成することが難しい生徒が多い。</p> <p>本題材では、B鑑賞との関連を図り、「ジャポニスム」を取り上げるとともに、主体的、対話的な活動やアイデアスケッチや言葉で発想や構想をしたことを整理する活動を取り入れ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができるようにしたい。</p>
---------	--

- （2）（1）「題材設定の理由」を踏まえた指導と評価の計画を次のように作成する。①では、生徒が題材に魅力を感じ、造形的な見方・考え方を働かせて主体的に主題を生成できるようにしたい。①における第1時～第2時の「学習のねらいおよび学習活動」を解答用紙に記せ。なお、第3時～第7時の「学習活動および内容とのつながり」も重視すること。「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。

時	活動内容	学習のねらいおよび学習活動 「○」は、学習のねらい「・」は、学習活動として記せ。
第1時 ） 第2時	課題の把握と発想・構想	①
第3時 ） 第7時	制作	○構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・①の内容を基に、自分の表現意図に合う表現方法を工夫して制作する。 ○表現を深める ・発想をさらに豊かなものにし、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。
第8時	鑑賞	○作品鑑賞 ・他者の作品から、作者の心情や意図と創造的な工夫などを感じ取る。

- （3）①の活動中において、意欲はあるが、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることが難しい生徒がいる。その生徒への指導方法の工夫を記せ。



